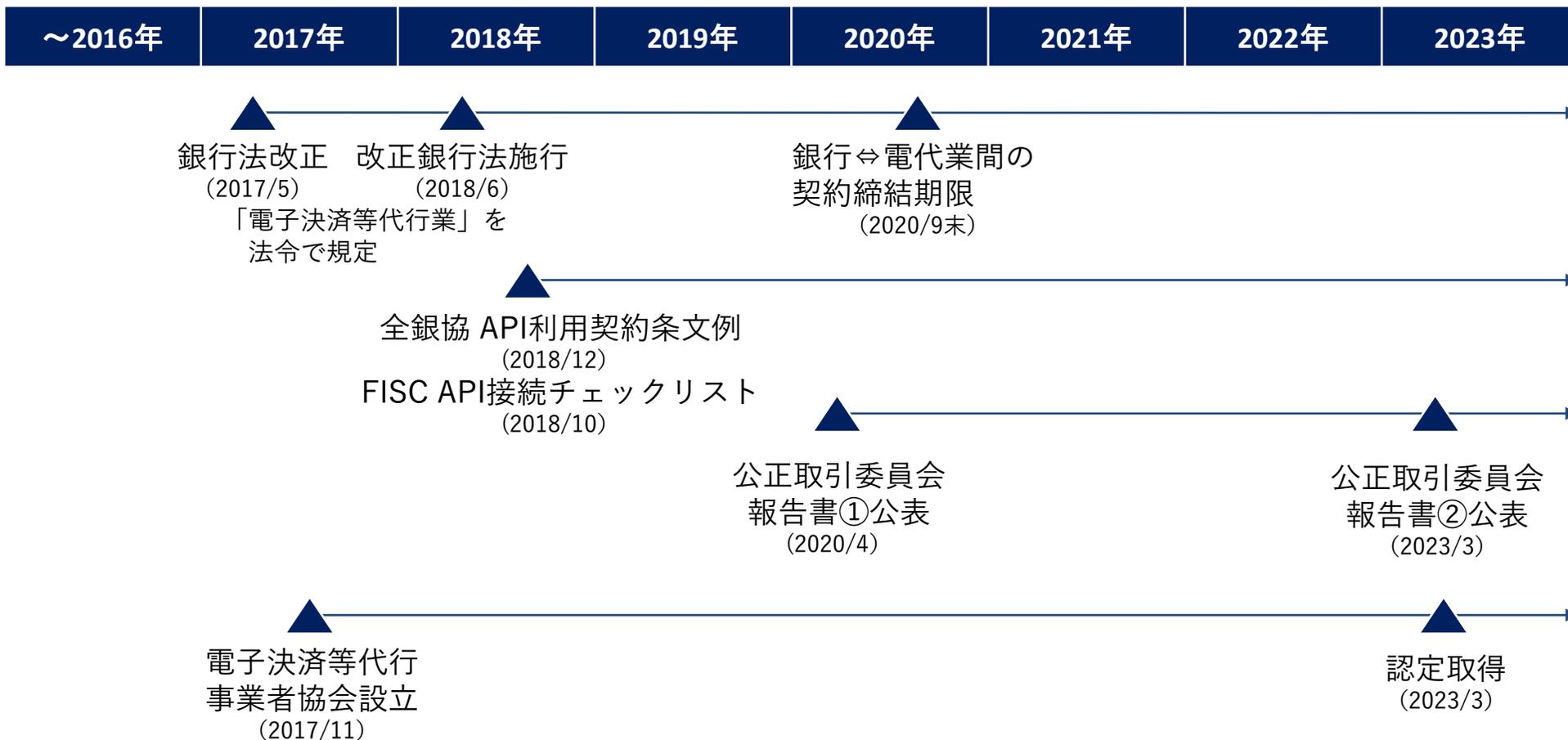




一般社団法人電子決済等代行事業者協会

更新系API関連課題の検討

2020年の契約締結期限前後にイベントが集中



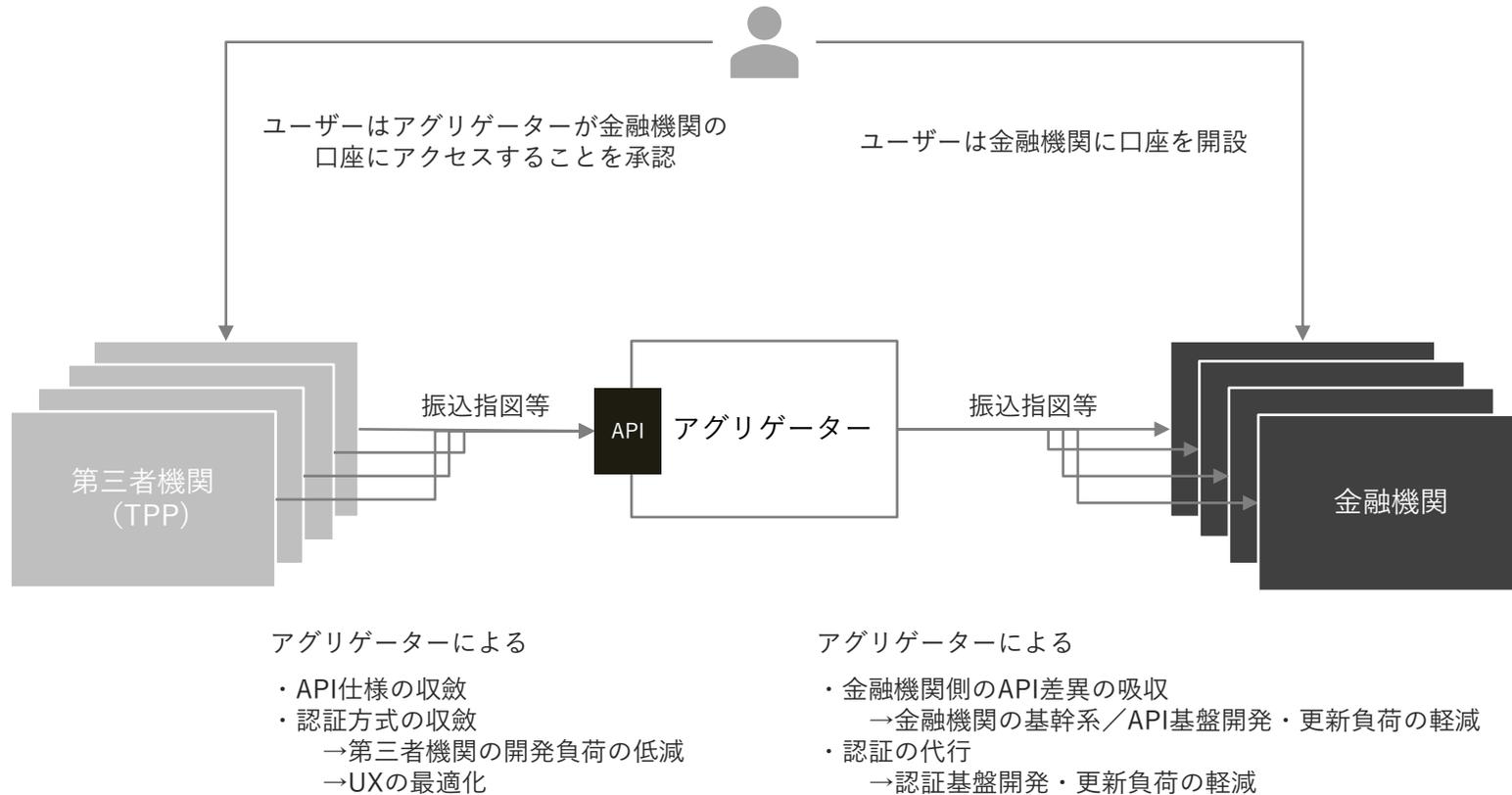
ユースケース	認証分担方式の時間的推移イメージ	検討手順（素案）
自己名義間資金移動 （同行内振替）		<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関における認証方式、手順情報のカタログ化 ・ユースケース毎のリスク評価
低リスクの資金移動 ・自己名義口座間移動 （他行向け振込）		<ul style="list-style-type: none"> ・ユースケース毎に許容できる認証方式の例示 ・不正利用情報の共有枠組の検討
中リスクの資金移動 ・他者名義口座へ移動（PF利用等）		<ul style="list-style-type: none"> ・AML/KYCの責任分担の検討 ・利用者補償の在り方の検討
高リスクの資金移動 ・他者名義口座への移動		<ul style="list-style-type: none"> ・UX/UIに優れたAPI（及び金融機関基幹系）に求められる仕様の大枠検討

・金融機関側の認証は（一旦は）IBを利用する前提で記載

・電代業側/連鎖接続先側で認証完結の場合でも、一定期間の有効性を持つリフレッシュトークンは並行して利用

更新系API活用アグリゲーター（イメージ）

本格的なビジネス用途等向けのアグリゲーターのイメージは下記のとおり



- 各金融機関における多要素認証の網羅的調査
- 各ユースケースのリスクに照らした認証手段のマッピング
- データバインディングな用語定義の作成
- 競争領域と協調領域の区分け
- 海外における標準化活動の調査・適合